

## 第 14 回 共同実施事業管理委員会 議事要旨

日時:令和元年 9 月 27 日(金) 13 時 15 分～14 時 00 分

場所:東京都庁第一本庁舎 33 階南側 A-1・A-2 会議室

### 1 議題

- (1) 令和元年度第 1 四半期の実績報告について
- (2) 令和元年度第 2・3 四半期の概要について

### 2 議事経過

- (1) 令和元年度第 1 四半期の実績報告について

上記議題について、「令和元年度 共同実施事業（オリンピック経費）に係る第 1 四半期執行状況報告の概要」（資料 1-1）、「令和元年度 第 1 四半期執行状況報告（明細）」（資料 1-2）に沿って事務局より説明が行われた。

#### <資料 1-1 の説明概要>

- ・資料 1-1 について、左側の項目は V3 までの整理を踏襲し、仮設等、エネルギー、テクノロジー、輸送、セキュリティ、オペレーション等に分類している。
- ・「(5)輸送（大会開催経費分）」と「(7)セキュリティ（大会開催経費分）」は、地方で行う輸送、セキュリティに係るインフラ整備について宝くじ財源を充当し、東京都が受け入れ、組織委員会が執行する経費となっている。
- ・令和元年度のオリンピック経費の交付決定額が 1,329 億円であるのに対し、執行見込額も 1,329 億円である。まだ第 1 四半期なので、交付決定額全額執行するという目標の中で執行している。
- ・執行見込額のうち、第 1 四半期における履行確認済額は 31 億 4,900 万円である。履行確認済額とは、交付決定を受けた事業について、サービスの履行又は物品の納品を受け、その検収が済んだ事業の金額を計上している。
- ・パラリンピック経費については、パラリンピック作業部会で最終的に判断することになるが、参考として交付決定予定額 177 億 3,200 万円、全額執行見込みとして計上している。
- ・オリパラ合計で、1,506 億 3,200 万円が令和元年度の執行見込額となる。
- ・主な履行確認済事業として、仮設等では有明体操競技場の新築工事、オーバーレイブックという会場の図面の更新作業、仮設オーバーレイ等に係るプロジェクトマネジメントという全体の工程管理を行う委託事業などを進めている。
- ・テクノロジーでは、大会用データネットワークのデータセンター等の機器調達や検証業務を

進めている。

- ・輸送では、輸送センター構築に向けた電気工事や機器調達を進めている。
- ・セキュリティでは、アクセスコントロールシステムに関する業務委託を進めている。

#### <資料 1-2 の説明概要>

- ・資料 1-2 は、資料 1-1 の明細となっており、オリンピック経費に係る組織委員会負担分と東京都負担分の内訳や宝くじ分、全体経費などを載せている。
- ・第 1 四半期における宝くじ分は、1 億 2,800 万円をセキュリティ関係で計上している。
- ・オリンピック経費の小計、パラリンピック経費の小計、宝くじ分を全て合算して、経費計で 50 億 7,900 万円である。このうち、東京都から共同実施事業として受け取るオリンピック経費分の補助金は 31 億 4,900 万円であり、資料 1-1 の履行確認済額と一致する。

上記議題について、委員から意見等はなし。

#### (2) 令和元年度第 2・3 四半期の概要について

上記議題について、「令和元年度 共同実施事業（第 2・第 3 四半期）の概要」（資料 2-1）、「令和元年度交付対象事業一覧（明細）」（資料 2-2）に沿って事務局より説明が行われた。

#### <資料 2-1 の説明概要>

- ・資料 2-1 はオリンピック経費 1,329 億円の第 1 四半期から第 4 四半期までの各期の執行計画であり、第 1 四半期は 1,111 億 1,800 万円である。
- ・昨年度からの継続事業や第 1 四半期契約予定の事業分を、予算確保の観点から契約ベースで計上しているため、資料 1-1, 1-2 で説明した第 1 四半期履行確認済額 31 億円に対し、1,111 億円となっている。
- ・第 2 四半期以降は金額は小さくなり、第 2 四半期 17 億 7,800 万円、第 3 四半期は 7 億 3,100 万円となる。
- ・パラリンピック経費の予定額は 177 億円で、オリパラ合計で 1,506 億 3,200 万円となり資料 1-1 の令和元年度執行予定額と一致する。
- ・主な第 2・3 四半期の事業内容として、エネルギーでは電力インフラ整備、輸送では輸送関連システムの開発や地方会場における調査委託、観客シャトルバス乗降場及び待機場の確保及び仮設整備がある。オペレーション等では、ユニフォームの調達や飲食の手配、MDC という組織委員会が管理する倉庫の運営などがある。

#### <資料 2-2 の説明概要>

- ・ 資料 2-2 は資料 2-1 の明細表であり、令和元年度予算に基づき交付決定された額である。⑫⑬の経費は、消費税率引上げ後の数値である。
- ・ 一番右側のローマ数字は四半期ごとの発注予定であり、例えばエネルギーの「電力業者によるインフラ整備」は、第 2 四半期執行予定となっている。

上記議題について、委員から意見等はなし。

### 3 意見交換

議事終了後、下記のとおり意見交換が行われた。

- ・ 作業部会に向けて早い段階から調整し、計画的に開催できればいいが、緊急的に審議せざるを得ない案件があることについてお詫びしたい。会議運営に関し、可能な限り柔軟に作業部会を開催していただき、事前確認を取った上で契約手続きを進めるという適正なやり方を引き続き担保していきたい。  
⇒ 準備が円滑に進むよう、作業部会としてもしっかりチェックしていきたい。
- ・ 今後、本番に向けて短い期間の中で急な要請や対応が必要となる部分もあると思うが、様々な業種、業態、背景の職員で構成されている組織委員会が、適正に執行管理していく仕組みについて、現在どのように検討されているか教えていただきたい。  
⇒ テストイベントで、直前になって不足分が発覚するという事態や、現場で様々な注文が出るという事態を受け、事前に机上だけでは準備できなかったところがあるというのを痛感した。しっかりした会計システムの骨格を維持しながら、臨機応変にどう対応するのかということを、テストイベントを通じて実験的にやりながら、コンプライアンスを担保したい。財務部、調達部、共同実施事業管理部、関係部局と、コンプライアンスの観点から総務局も入って、今後どのような支出契約をしなければならないのか、今どのステージにいるのかというのをしっかりと管理している。一方、そのスケジュールどおりにならない案件があるのも事実なので、そのような案件は臨機応変にご対応いただける分はお願いしたい。
- ・ 大枠の合意の中でルールどおり支出されるものについては、基本は事前チェックが大前提になる。それが困難なことが想定されるのであれば、予め議論を深める必要がある。
- ・ パートナー供給契約について、守秘義務が課されている中で契約金額の公表に向けて、法的課題を整理しつつ調整し、7 月末時点で合意が得られた契約金額については公表したということで、感謝したい。共同実施事業については、税を使うというところから透明性の確保が大変重要であるため、引き続き調整をお願いしたい。

⇒ 公費として税金を使っているということについて、スポンサーの皆様にもご理解いただけるよう説明し、公表に向けて順次調整を進めている。通常、経営に影響を与えるような情報は出せないという中で、対象となる契約金額等が経営に影響を与えるかどうかの判断を各社がシビアに行っている部分もあり、調整に時間を要する場合もある。しかし、基本的に東京都が税金を使って行う事業と同じレベルの公表が必要だということは、理解していただいている企業が多いため、順次公表を進めていきたい。

また、IOC が直接パートナー契約を結ぶトップパートナーについても、IOC にマーケティング局等を通じて働きかけている。IOC の了承をもらった上で、パートナー企業との個別調整に入るためもう少し時間を要するが、調整を進めていきたい。

- ・パラリンピック経費について、昨年度は国費相当分が13億円弱であったが、今年度は昨年度より経費が大幅に増えている。パラリンピック作業部会は、通常年度末の開催かと思うが、経費が大幅に増えている中で対象経費の可否の判断が効率的に行えるよう、もう少しこまめに開催いただきたい。

⇒ 件数が増えていることはご指摘のとおりであり、可能な限り効率的に確認できる方法を検討していきたい。

- ・大会まで残り300日ということで、最後の詰め段階ではあるが、V4はこれまでと同様のレベルで策定するのか、調整費はどのように扱うのか、今年度執行予定額について実際に執行されない分はどうするのか、現時点の見通しについて確認したい。

⇒ 現時点での状況ではあるが、作業的には9月からの3か月間でV4編成を行う。全般的に、ある程度順調に進みつつも、人件費の高騰等、当初想定していたよりも多くの経費を要する部分もあると考えているが、収支均衡を保てるよう予算管理を行っていく。

組織委員会予算は、予備費という一定枠の緊急予算対応経費又は今後の上振れ対応経費を計上していたが、既に上振れが明確になっている部分もある。こうした経費については、適切な項目に計上する必要があると考えている。今後、都民、国民の皆様にしかりと説明できるようどのように発信していくか、相談しながら進めていきたい。

- ・現在、テストイベントを開催する中で様々な課題等が出ており、予算措置を伴わないものもあると思うが、このような対応経費はV4予算の中で明示するのか。それとも予備費対応となるのか。

⇒ 方針について現時点で確定はしておらず、あくまでも一つの考えとはなるが、ご指摘のとおりテストイベントでは暑さ対策が非常に重要な点としてクローズアップされている。従来の暑さ対策では十分ではないというのが組織委員会としての見立てであり、今後東京都と相談しながら暑さ対策を打ち出していきたいと考えている。打ち出すまでには、内容についてV4予算の裏付けが必要であり、具体化する必要があると考えている。

また、テストイベントを通じて、イベント会社等に業務を依頼しなければならない範囲が大きいということがわかり、その部分の経費がV3で十分でないのであれば、V4において予備費から当該経費に予算を移す部分も必要だと考えている。

現時点の代表的なものはその2点だが、可能な限り精緻な予算にしたいと考えているため、本当に必要なところには予算をつけていきたいと考えている。

- ・人件費の高騰について、人の囲い込みが終わり、契約が後ろになればなるほどより一層上がると聞いている。予算的な工夫や契約の執行管理の仕組みをしっかりとやるという話ではあるが、そのあたりも配慮いただきたい。

⇒ まさにご指摘のとおりである。警備関係については、早い段階から調整していたこともあり、今後人件費の高騰が見込まれる中、現行の契約額の範囲内で確保するという約束もできている。それ以外の人件費高騰の影響を受ける契約についても、なるべく早く契約締結できるよう動き出している。

- ・本委員会で検証する際、早めに物事を決めていかないと議論する時間が無くなってしまいうので、早めの行動をお願いしたい。

#### 4 閉会